「ふれあい看護体験」を開催しました！

日時：令和７年5月12日（月）10時～12時
場所：黒部市民病院　正面玄関

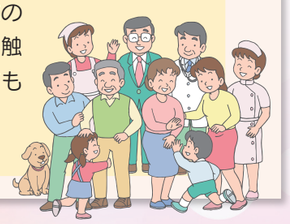
ナイチンゲール生誕の日である５月１２日は、毎年「ふれあい看護体験」を開催しています。今年は、正面玄関から外来に繋がる１階の廊下に、ナイチンゲールの歴史や功績などの特集を掲示しました。大盛況でした！

シャワー浴ができない患者さんに使用している、スチーマー清拭の体験をしてもらいました！

血管年齢やストレス度などを測定しました。
長い列ができるほど、皆さんの関心が高かったです。

ハンドマッサージ
ハンドマッサージで、患者さんやご家族の方々と、いろんなコミュニケーションができました。
ほんのひと時、癒しの時間を過ごしていただきました。

コロナ後、久しぶりに地域の患者さんやご家族の方々と触れ合うことができて、とっても楽しかったです ❤️

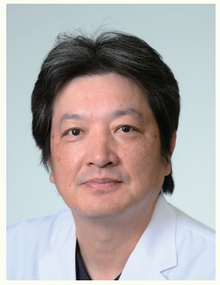


地域医療連携室

フレンディーだより

Community medicine cooperation room

ご　挨　拶



副院長
兼地域医療支援部主任部長
兼地域医療連携室長
兼外科部長
寺田　逸郎

日頃より皆様には，当院へのご支援・ご協力を賜り，誠にありがとうございます。本年度より地域医療連携室長を私、寺田逸郎が務めさせていただくこととなりました。

当院が救急医療および急性期入院診療を行っていく上で、地域医療連携室は地域の医療機関や各種保健・福祉サービス機関との連携を通じて、患者さんへ切れ目のない医療・看護・介護サービスを提供するための支援・調整を担う重要な役割を果たしております。

５月には、地域医療連携室のスタッフとともに、地域のクリニックや病院，施設を訪問させていただきました。その際は、大変お忙しい中ご対応いただき、誠にありがとうございました。先生方と直接お会いしお話しすることで、より深い信頼関係を築くことができると、改めて実感したところです。

今後も、皆様との連携の要として、ご要望に沿えるよう努めてまいりますので、ご意見・ご要望がございましたら、遠慮なくお知らせください。 本年度も、皆様のご指導・ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

2025
vol.79
R7.7 発行

黒部市民病院 黒部市三日市1108-1
E-mail：friendy@med.kurobe.toyama.jp

皮膚科医師が変わりました！

皮膚科部長　**小松　奈保子**

2025年4月より、黒部市民病院皮膚科に着任致しました小松奈保子と申します。医師になり長い時間が経過しましたが、黒部市民病院で働くのも、黒部市の住民になったのも初めてです。皆さんと「同じ水を飲み、同じものを食べ、同じ景色を見る」ことで、地域に根ざした治療を実践していきますので、よろしくお願いいたします。

さて、皮膚の病気は、皆さんの目で見えるため、良くなっても悪くなってもご自分で評価できます。

皮膚科で出される、どんな飲み薬もどんな塗り薬も、傷んだ皮膚を治すことはできても、皮膚の病気が出ないようにすることはできません。ですので、治療をしていても、皮膚に合わないものを日常生活で使い続けていれば、残念ながら皮膚の病気は絶対に良くなりません。

もし、薬を塗っても塗っても、皮膚の病気がなかなか治らなくて困っている方がおられましたら、その時は、「日常生活の中に、良くならない原因がないかな？」「良かれと思って使っているものが、皮膚に悪さをしていないかな？」と、まずは、日常生活から丁寧に探っていく必要があります。石鹸、洗剤、化粧品、柔軟剤、芳香剤、消臭剤、漂白剤、入浴剤、薬、毛染め、健康食品などなど・・・・。実は、あなたの皮膚を傷めているものは、身の回りで使っているものかもしれません。なかなか皮膚の病気が治らなくて困っている皆さん！是非皮膚科に相談にいらして下さいね。一緒に色々原因を探って、きれいな皮膚に治していきましょう！

皮膚科医　**今崎　克也**

このたび、黒部市民病院皮膚科に赴任いたしました今崎克也と申します。今年度より、黒部市民病院で診療を担当させていただくこととなりました。

これまでは大学病院や地域の医療機関にて、皮膚科の診療に携わって参りました。皮膚の病気はかゆみや痛みといった身体的な不快感に加え、見た目の変化によって精神的な負担を感じることも少なくありません。そうした患者様のつらさや不安に寄り添い、安心して受診していただけるよう、丁寧でわかりやすい診療を心がけてまいります。

黒部は自然に恵まれ、地域の雰囲気も穏やかで、人の温かさを感じられるとても魅力的な土地だと感じています。そうした環境の中で、皮膚科医として医療に貢献できることをうれしく思っております。

今後は一人ひとりの患者さまとの対話を大切にし、信頼できる皮膚科医を目指して努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

20年目を迎えた「扇状地ネット」
～これまでの歩みとこれからについて～

情報管理課長　**武隈　渉**

2006年4月にスタートした新川地域医療連携ネットワーク（通称：扇状地ネット）は、2025年度で20年目を迎えました。当初は、黒部市民病院の電子カルテ内の情報をかかりつけ医の先生方が閲覧できるようにと開始された扇状地ネットですが（病診連携）、その後、当院の（新）総合医療情報システムの構築を機に2013年3月に「（新）扇状地ネット」として稼働しました。電子カルテの全ての情報を公開するという基本方針を維持しつつ、利用者を医師以外の医療職にも拡大し、更には診察や検査の予約取得等といった一部双方向機能も稼働させるなど機能内容の拡充を図ってきました。

また、2018年12月には、あさひ総合病院との双方向でのカルテ連携（病病連携）を開始し、両病院間での検査結果やレントゲン・ＣＴ等の画像データに加え、診療・治療経過等の全ての情報を把握することができるようになりました。

加えて昨年2024年度には、富山労災病院の扇状地ネットへの加入について同院で調整準備が行われ、2025年度からの活用が予定されています。

このように扇状地ネットは新川医療圏の病診連携の一翼としてこの20年間着実に歩みを進めてまいりました。

扇状地ネットは、より質の高い継続診療に寄与するとともに、検査や薬剤の重複や併用禁止薬の投与防止といった医療安全面でのメリットを活かしつつ、これから人口減少が予想され、限られた医療資源の中で各病院の機能分担がこれまで以上に求められている新川医療圏にあって、重要な医療インフラとして今後も発展させていきたいと考えています。

扇状地ネットへのご加入お待ちしております！

扇状地ネットのメリット

- 電子カルテの保存されている診療情報をリアルタイムに確認できます。
- 診療予約や共同医療機器の検査予約などのWEB予約が可能です。
- 当院のカルテ情報がほとんど閲覧可能です。

閲覧項目

- 患者基本情報　●病名、アレルギー情報　●薬歴（処方・注射）　●検査結果歴
- 医師記録　●看護記録　●医師/看護サマリ　●画像や読影レポート　●経過表

各種オーダー/検査レポート

※扇状地ネットを使用したいPCの条件

- インターネットが接続できる状態でウイルス対策ソフトが入っているのPCであること
- 電子カルテなど、独自のシステムが入っていないPCであること（互いのシステム障害回避のため）

ご加入をご希望される医療機関の方は、地域医療連携室までご連絡ください。
当院の情報管理課より、ご説明や設置をさせていただきます。

地域医療連携室「フレンディー」

TEL：0765-56-7230（直通）FAX：0765-54-2981（直通）
月曜日～金曜日（祝日等除く）8時30分～17時00分